

■ Air Mail to Hokkaido

ドバイに向けての北海道物産輸出プロジェクト

日本ブランドである味よし、形よし、鮮度良しを前面に農水産物を中国、東南アジアに輸出している報道を時々見ることもあり、各地域の生産者の努力に感心し敬服しているところであった。本報告では灼熱の中近東のドバイに北海道企業が中核になり全国規模の産学のプロジェクトを立ち上げ獅子奮闘し

ている様は驚嘆に値するものである。米国の NASA は宇宙開発が主目的であるが、多くの高度技術開発が他分野に幅広く応用され科学技術の発展、産業の発展に寄与している。生鮮生産物の輸送技術は食と観光を御旗としている北海道にとって地域振興の起爆剤の 1 つになるもの期待したい。またぜひドバイに北海道ファンを増やして頂きたい。ただ 1 つ気になったのは値段であったが、アラブは金持ちが多いので気にせずとも良いかな…… (S.H)

■報告

第 18 回 防災セミナー「BCP（事業継続計画）への取り組み最前線」

BCP という言葉は最近、危機管理とセットで良く耳にしていましたが、その概念や定義及び意味するところは、企業の災害時対応の一環程度の知識しか有りませんでした。

今回のセミナーを聞き、そしてこの報告を読んで、清水建設さんの先進的に取り組んでおられる事例紹介により、その背景や定義、そして従来の防災対策に「復旧時間」が加わる総合的な企業防衛計画であることが少し理解できました。また、今後 BCP については、国際標準である ISO に BCP を含むセキュリティ関連の国際標準化が提案されていることも知りました。

一方、国の機関としては、自らの「災害時の優先業務」の特定など内的要素と、大きな地震が予測されている関東地方や四国地方では、地方整備局が先頭に立って域内の建設関連企業にたいする啓発・普

及（自らの事業継続と災害復旧の最前線の担い手になる）といった外的要素について立案・取組んでおられることを知りました。

BCP は、リスクマネジメント、コンプライアンス、CSR などと同様に経営戦略の一環として取組みを進めることの重要性を認識いたしました。 (J.I)

『さっぽろエコピープルの会』を設立

支部事務局から『さっぽろエコピープルの会』の設立の報告があり、全体で 155 名（技術士 24 名）が参加されたとのこと。この会の参加要件は「環境社会検定（eco 検定）」の合格者とのこと、第 5 回検定（平成 20 年 12 月実施）までの札幌での累計合格者は 1,050 名ということですので約 15%の方が参加されており、そのうちに技術士会の組織率も上回りそうです。会費も無料で人的ネットワークも構築できそうで羨ましい限り。まずは、「eco 検定」の合格を目指せということですが、案内も見えていない「のんびり屋」にとってスイッチオンまで時間がかかりそうです。 (B型・おうし座、のんびり屋)

■活動レポート

地域産業研究会

講演会報告 南後志 北限ブナ林見学会に向けて

「後志 3 町村（島牧村、寿都町、黒松内町）森林資源」

寿都町には従兄弟がいて、子供のとき夏休みによく遊びに行きました。私のような小学生でも岸壁から糸をたらしたらたちどころに魚の釣れる、とても豊かな海でした。それを可能にしているのが、森のブナやミズナラであり、その保存活動を支えているのが技術士会であると知り、大変感銘を受けました。119 号が引用している 118 号、118 号が引用している 115 号も読ませていただきましたが、寿都町には道内一のミズナラの巨木（幹周 689 cm）や天然記念物である北限のブナ林があることや、野鼠によるブナの実の食べ残しがブナ林の再生に役立っていることなど大変興味を覚えました。また、見学会は技術士会員以外の方が多く、写真からはとても楽しそうな様子が伺えて、これこそ社会に貢献している見本のような活動と感じました。書き終えて少しほめすぎかなとも感じました。（M.S）

リージョナルステート研究会

「自然科学教育分科会の活動報告」

報告の中で「サツマイモの植え付け、収穫体験」というところに興味を抱いた。私はサツマイモが北海道で育つとは思っていなかった。私が小さかった頃、終戦直後の貧しい時代であったが、サツマイモなんて見たことも食べたこともなかった。学校に通うようになって、サツマイモは九州とか暖かい地方にしか育たないものだとか教えられた。初めて食べたときのあの独特の甘さにびっくりした記憶がある。

ものの本によるとサツマイモの原産地は中南米で、16 世紀末頃琉球に伝えられたとか。日本におけるサツマイモの生産量は、鹿児島県が全体の 4 割を占めるそうで、気温の高いところで出来が良いというのはうなずける。それが寿都で出来るというのだから、品種改良されているのだろうが驚きである。サツマイモも種類が多いと聞くが、どんな芋を植えたのであろうか。

私は「金時」の焼き芋とキントンが好きで時々食べるが、このレポートを見てふと食材の進歩に感銘した次第である。（K.T）

業務委員会

「札幌弁護士会（市民ネットワーク委員会）との交流委員会」

記事を読んで最初に感じた事は、このような活動が行われているのだという一種の驚きに似たものでした。記事の中には、交流委員会で話し合われた内容が議事録風に纏められていますので、参加していない会員にも分かりやすいものでした。また、今後の方針も紹介されていますので活動の方向性も理解しやすくなっています。

ただ裁判という公の事とも関連しますので、さらなる協議と検討が必要と思われますが、活動が緒に就くことを願っています。

（電気電子部門 M.Y）

「青年技術士交流委員会——平成 21 年度総会開催 役員改選を行いました！——」

平成 21 年度総会と春期講演会、およびその後の意見交換会の様子が報告されています。私事ですが、私も以前青年技術士交流委員会の役員をさせていただきました。まだ青年技術士協議会、略して青技協と呼んでいた時代です。第何期の委員会だったか正確には覚えていませんが、自分たちの代でなくすことは出来ないとい生懸命活動した記憶があります。このことは今の委員会にも引き継がれているようで、総会、講演会等が盛況に行われている様子が読み取れます。第 10 期の丹治委員長から第 11 期樋詰委員長に交代されたということですが、新役員には青年技術士交流会の更なる発展を期待したいと思います。（Y.K 血液 AB 型）

編集担当より

読者の声欄は、本号が 2 回目になりますが、初回の「118 号読者の声」に投稿された 1 稿を掲載していませんでした。大変申し訳ありません。今回改めて掲載させていただきます。今後、このようなミスをしないように注意いたします。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。